

とちぎの味、育てています。

JA ZEN-NOH TOCHIGI
SCOPE OF BUSINESS 2024

JA全農とちぎ
2024 事業案内

だちつでとちぎ



食と農を未来へつなぐ。



全国農業協同組合連合会栃木県本部
(JA全農とちぎ)
URL: <https://www.zennoh.or.jp/tc/>



公式ホームページ

JA ZEN-NOH TOCHIGI SCOPE OF BUSINESS 2024

全農の役割

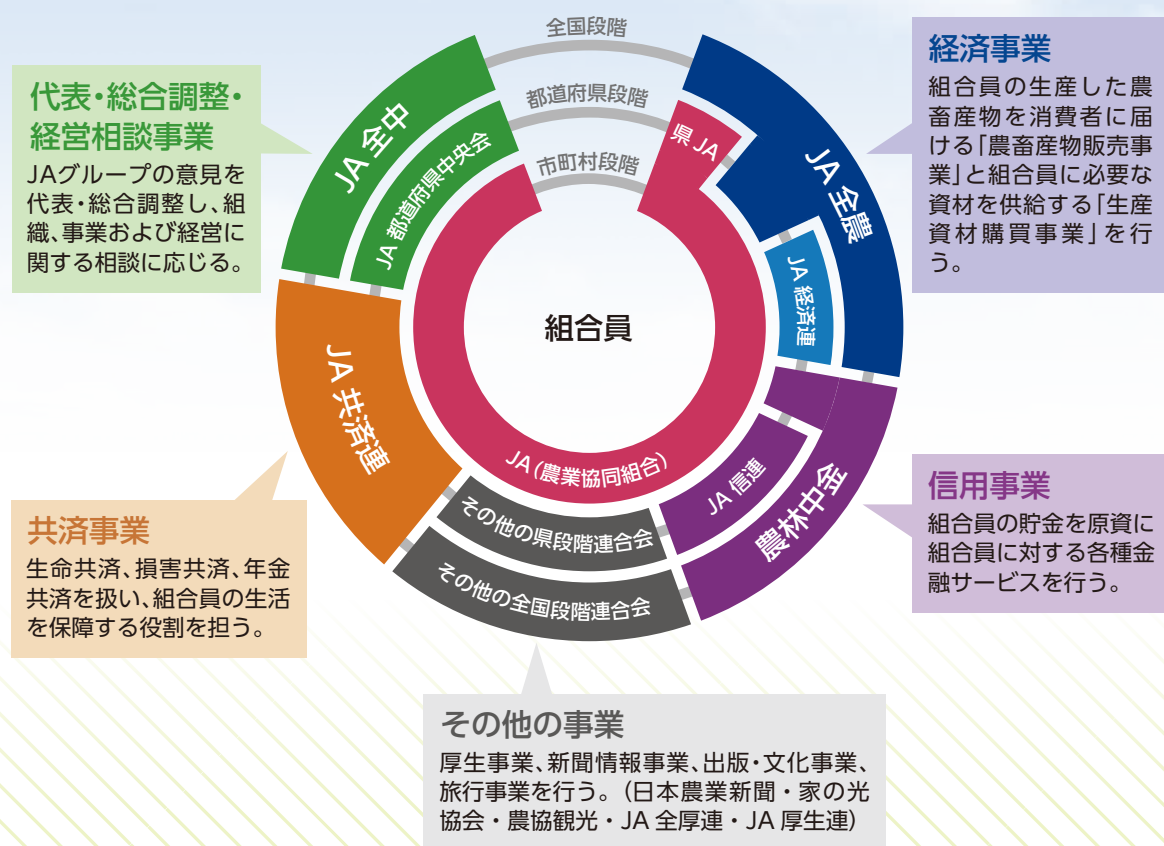


JAグループの中で「経済事業」を担当する私たち全農は、農畜産物の販売や生産資材の供給等の事業を行っています。会員であるJAや県連合会と協同してスケールメリットを生かした競争力ある経済事業活動を展開し、組合員の農業所得の増大や農業生産力の拡大を支援していくこと、さらにはそうした活動を通じて国民への食料供給を果たしていくことが全農の役割です。

JAグループとは

JAグループとは、相互扶助の精神のもとに農家（組合員）の営農と生活を守り高め、よりよい社会を築くことを目的として構築された協同組合です。

JAグループの組織



全農グループ経営理念

私たち全農グループは、
生産者と消費者を 安心で結ぶ懸け橋
になります。

私たちは「安心」を3つの視点で考えます。

- ◆ 営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組みます。
- ◆ 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
- ◆ 地球の環境保全に積極的に取り組みます。

JA全農とちぎがめざすもの

私たちは2030年の全農グループのめざす姿として「持続可能な農業と食の提供のために“なくてはならない全農”であり続ける」を掲げ、それを実現するための6つの全体戦略を策定しています。

栃木県本部としては、本県の農業情勢や営農実態等を踏まえ、各部門における2030年のめざす姿を「栃木県本部2030年ビジョン」として策定し、着実な実践を進めています。

栃木県本部 2030年全体ビジョン

**専門性と総合力を発揮し、
活力ある「産地とちぎ」を未来へつなぎます！**

- 私たちは、生産者・JAと共に、農業生産基盤の維持・拡大に挑戦します。
- 私たちは、変化する需要を的確に捉え、更なる販売力強化を実践します。
- 私たちは、環境保全型農業を推進し、豊かな地域社会の実現に貢献します。

全農栃木県本部の2024年度事業案内の発行にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

国際情勢の不安定化、世界的規模での気候変動や家畜疾病により、食料安定生産や安定供給に対する国民の意識や関心が高まる中、農業生産の現場では生産者の高齢化や農業就業人口の減少に歯止めがかからず、労働力不足への対応が急務となっています。また、世界経済の回復や円安などにより、肥料や飼料などの生産資材価格が高止まりし、農家組合員は依然として厳しい経営環境におかれています。

一方、消費の現場では、食品の値上げに対する節約志向、食の外部化や簡便化、eコマースや宅配の拡大、環境問題に対する意識の高まりなど、消費者のニーズが多様化しています。

このような事業環境の変化に対し、栃木県本部としては農業生産基盤の維持・拡大を一丁目一番地として、JAと一体となって担い手への対応強化や新規就農支援、スマート農業の普及・推進、生産性向上やコスト低減などの取り組みを強化しております。また、SDGsや環境に配慮した農業に適切に取り組むとともに、物流の2024年問題をはじめ、新たな課題や多様なニーズに迅速に対応し、社会的責任を果たしてまいります。

販売面では、コストに応じた適正な農産物価格の実現に向けて、取引先や消費者の理解醸成に継続して取り組んでまいります。また、消費地に近い優位性を生かし、米や青果物の契約販売や実需者への直接販売の拡大、とちぎ食肉センターを起点とした牛・豚の集荷・販売の拡大、そして米やいちご・梨・とちぎ和牛の輸出促進を進め、販売力強化による生産者手取りの向上に努めてまいります。合わせて、生産振興とJAグループへの結集による販売拡大に向けて、「たちつてとちぎ」を合言葉とした産地とちぎのブランドの確立を図ります。

さらに、「とちぎ米広域集出荷センター」の利用拡大や「総合物流センター」を核とした県域物流の効率的運営、「農機事業一体運営」といった拠点型事業の強化による流通コストの削減やサービス向上を実践いたします。また、本年3月に本稼働した全国初となる複数JAの複数品目を取り扱う「青果物広域集出荷センター」の早期安定稼働を実現し、生産振興と生産者所得の向上をはじめとする所期の目的を達成してまいります。

なお、令和6年度は今次中期3カ年計画の最終年度であり、総仕上げの年となります。全農グループのめざす姿として掲げた「持続可能な農業と食の提供のためになくてはならない全農であり続ける」ために、中期計画の達成に加え、「栃木県本部2030年ビジョン」の実践を通して、活力ある「産地とちぎ」を未来につないでまいります。

結びに、私たち全農栃木県本部は、本年四半世紀ぶりに見直された食料・農業・農村基本法に的確に対応するとともに、急激なスピードで変化する生産・流通・消費動向に迅速に適応し、すべては農家組合員のためにという基本姿勢のもと、JAと一体となって持続可能な農業と地域社会の実現に向けて全力で取り組んでまいります。

引き続き、本会事業へのご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。



全国農業協同組合連合会栃木県本部 県本部長

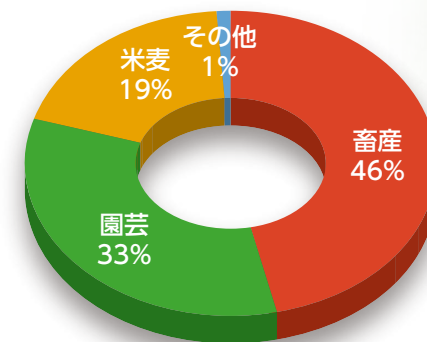
中村 昌文

栃木県は、大消費地である首都圏の北部に位置し、平坦で広い農地、豊富な水資源、穏やかな気候など、農業にとって素晴らしい条件に恵まれています。立地条件に加え、農業者の優れた技術により、半世紀以上にわたり生産量連続日本一のいちごをはじめ、米、とちぎ和牛など全国に誇れる農畜産物を生産しています。

農業産出額

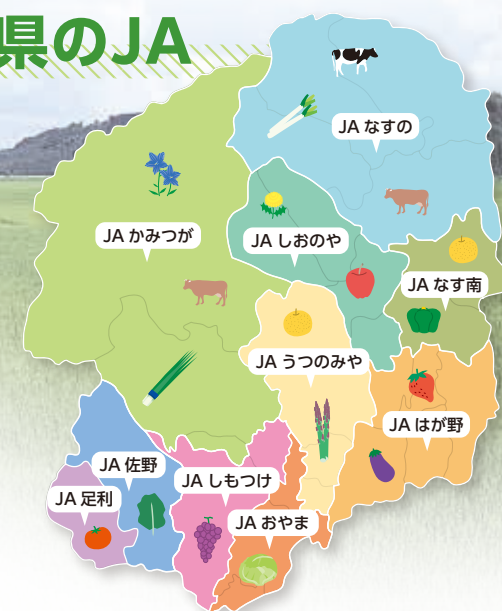
2022年(令和4年)

全 国 9兆15億円
栃木県 2,718億円(全国9位)



栃木県の農業産出額の割合

栃木県のJA



とちぎの農産物 全国シェア

2022年(令和4年)



いちご 第1位

生産量 24,400t

二条大麦 第2位

生産量 46,200t

にら 第2位

生産量 14,300t

乳牛 第2位

飼育頭数 842,700頭



梨 第3位

生産量 17,000t



トマト 第5位

アスパラガス 第6位



なす 第7位



肉用牛 第7位

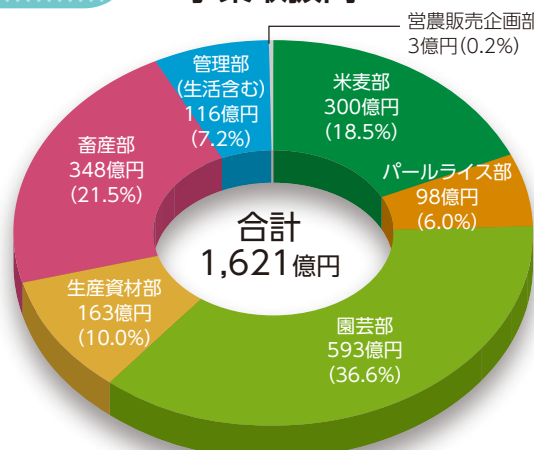


米 第8位

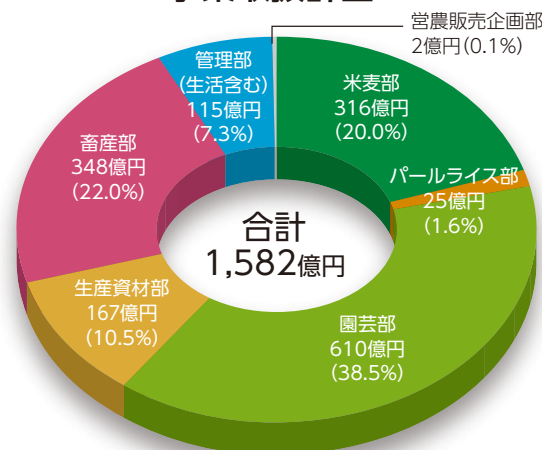
生産量 284,200t

部門別取扱高

令和5年度 事業取扱高



令和6年度 事業取扱計画



※パールライス部は令和6年7月に全農パールライス(株)と統合予定。

米 穀

豊かな自然が育んだ米・麦・大豆。
米どころの産地として、安心と美味しさをお届けします。



コシヒカリ 「とちほのか」

栃木県産コシヒカリは全国有数の生産量を誇り、令和5年産食味ランキングにおいて「特A」を獲得。つやつや感、もちっとした弾力ある粘りは”米どころ栃木”を代表するにふさわしいお米です。



とちぎの星

ぶくっと大きく、豊かな甘さが特徴的なとちぎの星。大粒で炊飯後も粒がしっかりと、冷めても美味しく、丼物やカレーなどに良く合います。

米



なすひかり

県北地域で多く栽培されている栃木県オリジナルの品種。太陽の光をたっぷりと浴びて大きくふっくらと、そしてうまみ成分をぎゅっと粒に蓄えて、美味しいお米に育ちます。

・コシヒカリ「栃乃プレミア」

・ブレンド米「穂のキセキ」



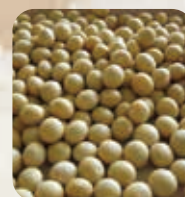
二条大麦

主要品種は「ニューサチホゴールド」。全国屈指の生産量を誇り、なかでも「ビール麦」は全国一。



小麦

「さとのそら」「イワイノダイチ」「タマイズミ」「ゆめかおり」がそれぞれ用途に合わせて作付されています。



大豆

主要品種は「里のほほえみ」。豆腐や味噌などに適しています。

麦・大豆

畜 産

県内の指定生産者がこだわりと誇りを持って育てています。



とちぎ和牛

栃木県を代表する黒毛和牛。最高級の枝肉だけに与えられる銘柄です。柔らかいサシの入った霜降り、風味豊かな味わいは肉の芸術品と呼べるほど。



豚

とちぎゆめポーク

脂のなめらかな舌触り、口溶け、甘さが自慢の銘柄豚。

牛

とちぎ霧降高原牛・日光高原牛

安全・安心な全国トップクラスの交雑牛。その肉質の良さは、市場からも高い評価を得ています。

園 芸

栃木県の代名詞”いちご”をはじめ、梨や野菜など、大消費地への近さを生かして新鮮な青果物をお届けします。



いちご

とちあいか

栃木の新たな主力品種となった「とちあいか」。大粒で酸味が少なく、甘さが際立ちます。縦に切ると断面が可愛いハート型になることも魅力のひとつです。



とちおとめ

味が濃く、甘酸っぱい、果汁たっぷりのジューシーな味わいです。



スカイベリー

甘みと酸味が絶妙なバランスの上質いちご。大きい、美味しい、美しい、三ツ星いちごです。

梨

幸水 豊水 にっこり

甘みの強い「幸水」、甘みと酸味が絶妙なバランスの「豊水」、糖度が高く、ジューシーな味わいの「にっこり」。栃木の梨は、幸せ、豊かに、にっこりです。



野菜

トマト なす にら きゅうり ねぎ

とちぎの農畜産物の魅力

収穫量日本一を誇る「いちご」をはじめ、全国に誇る栃木県産農畜産物の安全性や美味しさをPRするためのキャッチコピー「たちつととちぎ」。

日照量の多さや首都圏に近い立地、まじめな栃木県人の気質、手間暇かけた栽培育成、これらの旬のものを鮮度のよいままお届けできる栃木県産農畜産物の魅力。とちぎの元気を作る”4つのチカラ”を誰でも馴染める言葉でメッセージにしました。

たちつとと

たいようさんさん

ちかくてしんせん

つくりてまじめに

てしおにかけてる

とちぎの農畜産物



新規就農や労働力確保、省力化技術導入への支援や水田活用作物の提案など、農業生産基盤の維持・拡大のほか、JAの経営基盤確立・強化に向けた支援も行っています。

また、販売部門の部門横断的な企画業務や消費宣伝活動、EC事業も担い、県産農畜産物のファン獲得を図ります。

各課の紹介

総合支援課

JAの経営基盤確立・強化に向けた支援

総合販売企画課

「たちつてとちぎ」の総合窓口、SNS等を活用した県産農畜産物の消費喚起、産地直送通販サイト「JAタウン」の運営

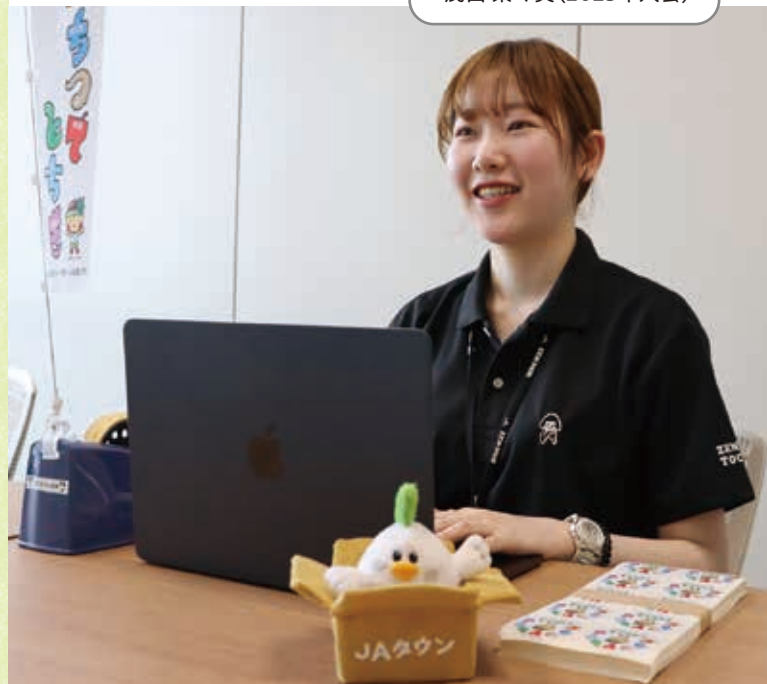
担い手支援課

担い手への営農に係る支援や提案、水田活用作物の提案、新規就農者支援、労働力支援



美味しい”栃木県産”を全国の消費者へ！

総合販売企画課
茂呂 菜々実(2023年入会)



総合販売企画課では、県産農畜産物のブランド確立・販売力強化、またロイヤリティの向上を目的とし、量販店での販促活動や県産農畜産物のインターネット販売、SNSを活用した宣伝、輸出事業に取り組んでいます。

その中で私は、産地直送通販サイト「JAタウン」内にある「とちぎ新鮮倉庫」の管理運営を行い、“産地とちぎ”の農畜産物を販売しています。具体的には栃木の肥沃な大地、恵まれた環境で育った農畜産物を、「JAタウン」を通じてお客様にお届けするためにJAや企業と販売商品の設定やショップページの編集、またお客様対応等を行います。

JAや企業、お客様の様々なニーズに応えることは容易なことではありませんが、皆様に満足していただけるよう日々奮闘しています。

JAタウン



栃木のお米・お肉・野菜が勢ぞろい！
“産地とちぎ”から新鮮なおいしさをお届けします



生産者と消費者をつなぐ懸け橋になるために

米麦総合課
大村 恭弘(2021年入会)



米麦総合課では、主にお米の集荷、水田活用米穀の受渡、共同計算、生産振興、農産物検査員の育成業務、「とちぎ米広域集出荷センター」の運営を担当しています。

その中で、私は主に集荷業務を担当しています。近年の社会情勢の影響もあり、販売先からの需要は増加し、栃木のお米が求められている状況です。そこで私はJA担当者と連携しながら生産者への訪問活動を通じて、JAの集荷率向上に向けて推進を行っています。

現在、需給や農業情勢など、お米をとりまく環境が大きく変化しており、非常に難しい局面になっています。生産者の手取り最大化と、消費者が安心して栃木のお米を食べていただけるように、生産者と消費者の懸け橋として業務に取り組んでいきます。

公式X、Instagramアカウント



ごはんに合うレシピやイベント情報、産地情報など、栃木米に関する情報を発信します！



栃木米を親子でもっとおいしくをモットーに活動中している栃木米コミュニティです。



米の一大産地としての信頼と品質向上のため、消費動向や実需者の要望に合わせて、栃木県産米の取引拡大・生産体制の確立に取り組んでいます。

麦・大豆では、生産者の安定収入確保に向けて、用途別品種の生産提案や有望種の生産拡大を進めています。

また、産地交流も積極的に実施し、生産者と消費者の顔が見える活動も行っています。

各課の紹介

米穀課

米穀(主食用米)の販売、うるち米・もち米・酒米の精算業務、栃木県産米の広告宣伝

米麦総合課

米穀(主食用米・水田活用米穀)の集荷・生産振興、農産物検査員の育成、「とちぎ米広域集出荷センター」の運営

農産課

ビール大麦・民間流通麦・大豆・米麦大豆種子の販売・集荷・生産振興、種子や包装資材等の供給



栃木県内の生産者が大切に育てたお米の仕入れ・精米・商品の販売までを手掛けている部署です。原料玄米の仕入れ管理や受け渡し、独自の精米工場における精米・品質管理等を担い、さらには販売先のニーズに合わせた商品の提案・販売を通じて栃木米のブランド浸透を図っています。品質にこだわった安全・安心で美味しいお米を全国の消費者へお届けしています。

各課の紹介

パールライス販売課

量販店や、外食・中食等の業務用実需者への販売、販促活動

パールライス業務課

原料玄米の仕入れ・管理、受け渡し業務

パールライス製造課

精米工場の管理・運営、精米の品質管理



美味しい栃木米を 消費者の皆様へお届けします

パールライス販売課
松本 一晟(2021年入会)



パールライス販売課では、品質にこだわった安全・安心で美味しいお米を、量販店や業務用実需者へ販売しています。そのほか、消費者に向けた各種広告宣伝等を通じ、栃木米の認知度・価値向上と販売促進に向けたPRを行っています。

その中で私は、栃木米の更なる販売数量拡大に向け、量販店・外食チェーン・米菓会社等へのイベントやキャンペーンなどの提案、新規取引先の開拓を行っています。また、お客様のご家庭や店舗での炊飯状態に合わせた精米方法を、米の品質管理を担う製造課と探求し、栃木米をより美味しく召し上がっていただくための情報発信なども行っています。

より多くの消費者へ栃木米の魅力を知っていただけるよう、栃木米の魅力発信と販売拡大に一層取り組み、栃木の生産者を応援していきます。

パールライス精米工場

年間精米能力は4万トン以上。
精米HACCP認証(日本精米工業会)
を取得し、確かな品質の精米を全国へ届けています。



パールライス 精米工場

“産地とちぎ”ブランドの 地位確立に向けて

流通対策課
山崎 周(2022年入会)



私が所属する流通対策課は、県産青果物の生産振興から流通、販売までを手掛けています。各JAや生産部会、販売先と協議しながら栃木県としての販売方針を決定し、実需者のニーズに合わせた販売を行うことで、安定した売り場の確保と販売拡大を目指します。

さらに、メディアやSNS等を活用した情報発信やイベント対応等による消費宣伝活動も行い、県産青果物の魅力発信にも取り組んでいます。

その中で私は、JA担当者や生産者からの生産出荷状況の聞き取りや、市場との直販取引の値決め等を日々行っています。市場での有利販売のため、時には直接圃場に出向いて情報収集を行いながら、市場へ正確な産地情報を発信しています。

生産者手取りの最大化に向けて、日々業務に努めています。

公式Instagramアカウント



とちぎの花
-zenoh tochigi flower-
とちぎのお花の生産者や販売店・イベント
情報や季節のお花などを紹介します！



栃木県を代表する“いちご”を含む果実や野菜などの青果物、花きの流通・販売等を担う部署です。生産者の手取り最大化、県産青果物のブランド力強化を目指し、卸売市場や実需者などと連携しながら契約販売の拡大や販路開拓に取り組んでいます。

また、低コスト・環境配慮型資材の普及拡大や優良苗の安定供給を進めています。

各課の紹介

園芸総合課

花きの流通・販売、青果物全般の精算業務

流通対策課

野菜・果実の流通・販売・消費宣伝・生産振興

東京青果事務所

野菜・果実の販売先推進

施設運営課

「青果物広域集出荷センター」の運営、野菜・果実の流通・販売・精算・生産振興

園芸資材課

ビニールハウスや段ボールなどの資材類の供給、種苗の生産・供給



生産者の労力軽減、トータル生産コスト低減に向け、肥料農薬部門では、低コスト・省力化の肥料・農薬の普及・推進を行っています。また、土壌診断に基づく適正施肥や農薬適正使用の徹底、環境に配慮した防除の実践などの普及に努めています。

農業機械部門では、ICT搭載農機の普及・推進や共同購入による低価格農機や中古農機の取り扱い拡大に取り組んでいます。

各課の紹介

肥料農薬課

肥料・農薬の受発注・普及、肥料・農薬試験、施肥や病虫害防除の提案

肥料農薬推進課

肥料・農薬の推進

農業機械課

農業機械の仕入れ・供給、実演会等の企画、JA農機センターへの推進

農機一体運営課

農機事業の一体運営化に向けた業務、広域農機センターの運営



生産者のニーズに応え、手取り最大化を目指します

農業機械課
阿久津 雄大(2021年入会)



農業機械課では、農畜産物の生産に必要な不可欠な農業機械を多数取り扱っています。農業機械メーカーから仕入れ、JAの農機センターを通じて生産者へ低コスト・高品質な農業機械を供給できるように取り組んでいます。また、展示会や実演会等のイベントの企画や、農業機械メーカーとタイアップした各種キャンペーンの企画提案などを行っています。

その中で私は、JAの農機センターからの受注、メーカーへの発注業務、在庫の仕入れ業務を主に担当しています。農業機械は1台あたりの単価が大きいので、スケールメリットを活かした価格交渉を農業機械メーカーと行うことで生産者のコスト低減につながるよう努めています。

また、JAグループが取り組んでいる共同購入コンバインや低コストトラクターの情報発信とスマート農業の実現に向けたドローン等の実演会企画などを行うことで、生産者の皆様の生産コスト低減と省力化、軽労化につながるよう、日々業務に取り組んでいます。

『共同購入』の取り組み

生産者が本当に必要な機能に絞った、取り組み第3弾となる「共同購入コンバイン」。
JAグループで生産者の需要を取りまとめ一括発注を行うことで、メーカーが製造・流通コストを削減でき、生産者へ価格メリットを還元する取り組みです。



共同購入コンバイン

全国屈指の畜産県・とちぎを支えます！

食肉販売課
角田 智哉(2021年入会)



私が所属する食肉販売課は集荷部門と販売部門の2つに分かれています。集荷部門では、生産者から肉豚の集荷を行い、枝肉の格付け・選荷を行っています。販売部門では、メーカー、卸売店、量販店等に部位ごとにカットされた部分肉や加工肉の販売を行っています。

私は販売部門に所属しており、量販店や飲食店に向けて部分肉の提案・販売を行っております。また、加工品の販売も担当しており、使用する原料の計算を行った上で、それに必要な部分肉の準備をしています。

「とちぎゆめポーク」をはじめ、栃木には魅力あふれるお肉がたくさんあります。栃木県産の美味しい豚肉をより多くの消費者に安定してお届けできるよう、日々心掛けています。

とちぎ和牛



とちぎ和牛が
食べられるお店



とちぎ和牛提供店

とちぎ和牛が
買えるお店



とちぎ和牛取扱指定店

※(一社)とちぎ農産物マーケティング協会

「とちぎ和牛」「とちぎ霧降高原牛・日光高原牛」や「とちぎゆめポーク」等の販路拡大に向けた取り組み、消費宣伝活動を積極的に展開し、県産ブランド牛・ブランド豚としての地位確立に努めています。

また、生産面では矢板市場上場頭数の維持拡大やキャトルセンターによる子牛頭数の確保を行い、生産基盤の維持・拡大に取り組んでいます。

各課の紹介

肉牛販売課

肉牛(とちぎ和牛・とちぎ霧降高原牛・日光高原牛等)の集荷・販売

食肉販売課

肉豚(とちぎゆめポーク等)の集荷・加工・販売、牛肉の加工

畜産生産課

矢板家畜市場・キャトルセンター・家畜診療所の運営



組織の円滑な事業運営のため、コンプライアンス・リスク管理体制の強化、事業計画策定および目標に基づく進捗管理、資産管理などに取り組むほか、人材育成に関わる研修の実施や勤怠管理、広報活動を行っています。

物流部門では、物流コストの抑制と生産資材の安定的な戸配送を目的に県域物流を運営しています。さらに一級建築士事務所を設置した施設部門では、農業施設の建設、提案を進めています。

各課の紹介

コンプライアンス推進課

コンプライアンスに係る業務

企画管理課

経営企画管理業務、経理業務、広報業務

総務課

人事事務、総務、管財に係る業務

物流対策課

県域物流の運営管理、関連システムの維持管理

施設住宅課

農業施設の建設や農住事業の展開



全農とちぎの円滑な事業運営のために

企画管理課
渡邊 哲伸(2023年入会)



企画管理課では、経営計画の策定や、事業の進捗状況の確認・分析などを通じて、経営状況の把握を行う収支管理業務のほか、経理業務、広報業務を行っています。

その中でも私は、主に月次決算に関する業務を担当しています。毎月の月次決算処理により、各部門における事業の進捗状況を把握し、適切な事業の運営に繋げることを目指します。毎月の積み重ねが期末決算処理に繋がっており、期末決算に向け進捗管理していくことが月次決算の役割です。

進捗状況を確認するためには各部門との連携が大切であり、各部門の業務内容を把握し、適正な経営状態を把握できるよう心掛けています。県本部全体を見ることが出来る部署として勉強の毎日ですが、経営管理に係る業務を任されているという責任感を持ち日々業務に臨んでいます。

『県域物流』の取り組み

生産資材の農家戸配送を行い、物流という面から生産者をサポートしています。注文を受けた資材は最短翌日に配送され、組合員利用の拡大を目指しています。県域物流の県内カバー率は84%と全国トップクラスです。



総合物流センター

地域の皆様の豊かな暮らしを守ります！

(本所くらし支援部)栃木推進課
狐塚 大介(2019年入会)



栃木推進課では、JA組合員をはじめ地域の皆様に暮らしに必要な食品や生活用品を提供しています。

健康志向や食の安全安心、ライフライン確保のために食材の定期宅配サービスである「JAふれあい食材」や、安全で健康を守るコンセプトで開発されたJAグループ独自のブランド品「エコープマーク品」等の取り扱いをしています。

その中で私は主に「エコープマーク品」をJAに提案する推進業務を行っており、長年ご愛顧頂いているロングヒット商品から新商品まで、組合員のニーズに沿った商品提案を心掛けています。

より多くの方々に「エコープマーク品」の魅力を届けられるように日々業務に取り組んでいます。

公式X、Instagramアカウント



生活情報発信室

Aコープマーク品やJAふれあい食材の商品、イベントなど日々の生活に役立つ情報を発信します！



生活事業では組合員をはじめ地域の皆様の暮らしに必要な生活用品を提供しています。食品を主とした「エコープマーク品」は、「安全で健康を守る」をコンセプトに開発されたJAグループ独自のブランド品で、多くの皆様にご愛顧頂いています。

また、安全・安心・新鮮をモットーとした食材宅配サービス「JAふれあい食材」を展開しています。

各課の紹介

栃木推進課

「エコープマーク品」の供給、食材宅配サービス「JAふれあい食材」にかかる企画・仕入れ・供給・推進業務、食材センターの管理・運営



JA全農とちぎは、SDGsが目指す豊かな社会の実現に貢献しています。

持続可能な開発目標 (SDGs) とは、2015年に国連サミットで採択された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す全世界共通の国際的な取り組み目標です。「誰ひとり取り残さない」を基本理念に、17のゴールと169のターゲットで構成されています。本会としても、各事業活動を通じて、SDGsの達成に貢献していきます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



環境負荷低減への取り組み

水田や家畜から排出される温室効果ガスの削減



秋耕・中干期間延長の圃場実証



機能的飼料の活用・推進による牛メタンの抑制

化学肥料や農薬使用量の低減



県内堆肥を使用した肥料の開発・普及



土壌診断の活用提案



環境配慮型商品の開発・普及

持続可能な農業に向けた取り組み

先端技術を活用したスマート農業の普及



スマート農機普及に向けた研修会の企画



Z-GISやザルビオの活用提案

次世代育成

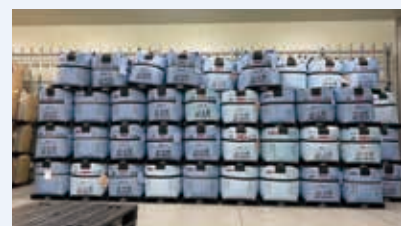


担い手育成に向けた研修事業



農業や食の大切さを学ぶ食農教育

物流体制・インフラ整備



規格の統一による輸送の効率化



青果物の広域集出荷施設の整備

地域・社会貢献活動

県内の幼稚園や特別支援学校等への県産米・県産青果物の贈呈



地元プロスポーツへのスポンサー支援



県内量販店・飲食店等と連携した県産フェアの実施による地産地消の推進



広報活動

広報誌

JA全農とちぎ通信

県内の学校や自治体、関係機関、JA等へ配布している月刊誌です。全農とちぎの取り組みを広く紹介しています。



担い手サポートセンター通信

県内の生産者向けの月刊誌です。県内の生産者に役立つ情報を掲載しています。



ラジオ

RADIO BERRY

JA全農とちぎ presents DO YOU 農? たちつとちぎ

毎週、旬の栃木県産農畜産物の魅力や美味しさを分かりやすくお届けする番組です。本会の担当者が出演し、その時期おすすめの情報を紹介しています。

RADIO BERRY 76.4FM



ホームページ・SNS

ホームページ

組織情報やニュースリリース、各種イベント・キャンペーン情報、栃木県産農畜産物についての情報を掲載しています。

全農



Youtube

JA全農とちぎ 公式Youtubeチャンネル レシピ動画やPR動画など、栃木県産農畜産物に関する様々なおすすめ動画を公開中!



Instagram



栃木県産農畜産物のこだわりの美味しさを「#たちつとちぎ」の合言葉とともにご紹介!



LINE



栃木県産農畜産物のおすすめ情報をお届けします!お得なクーポンやキャンペーン情報なども配信中!



全農とちぎのSNSアカウント一覧



※各部門のSNSは部門紹介ページ (P7～P14) にも掲載しています。

概要

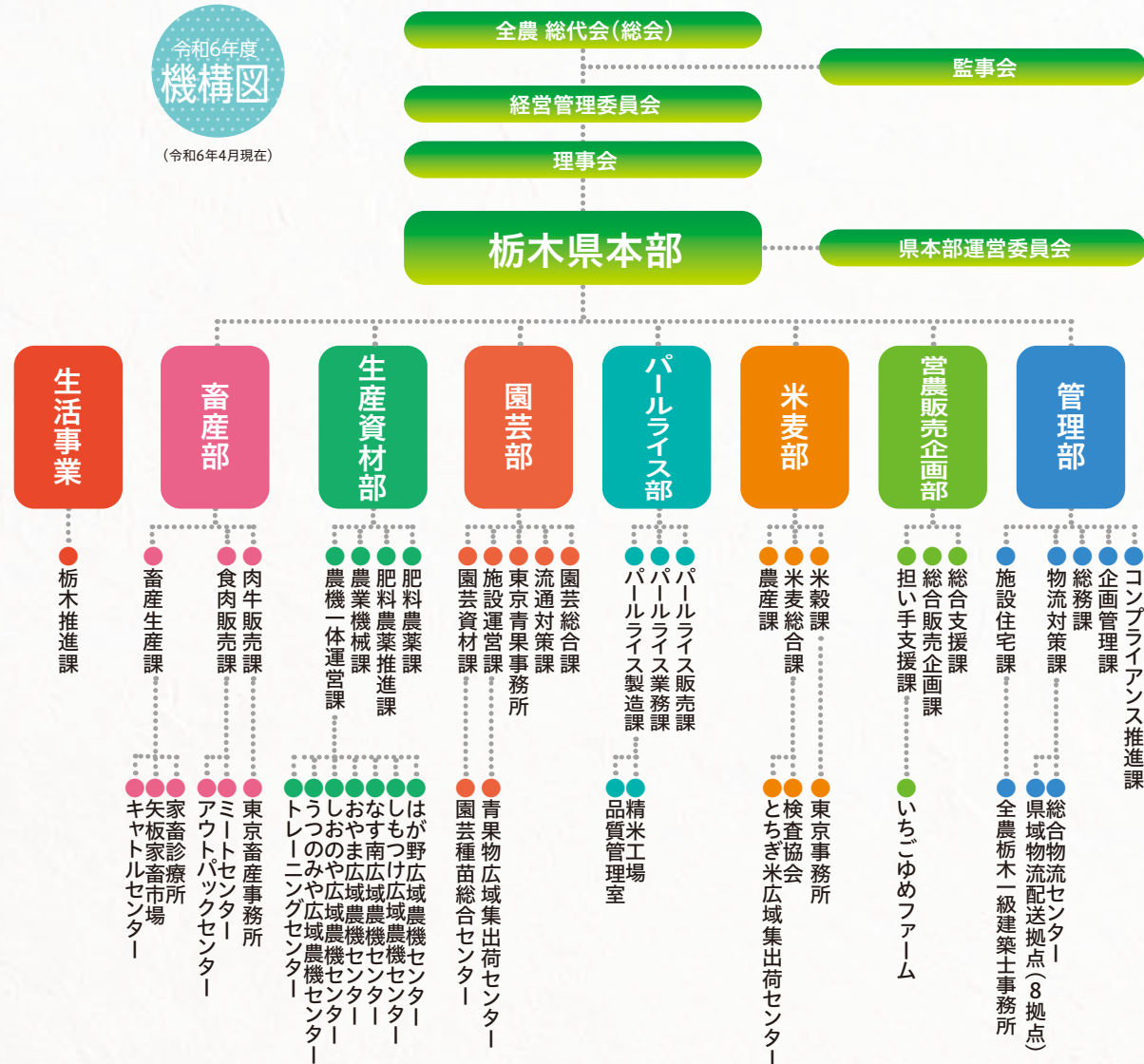
名 称：全国農業協同組合連合会栃木県本部
略 称：全農栃木県本部
愛 称：JA全農とちぎ
住 所：〒321-0905
栃木県宇都宮市平出工業団地9番地25
電話番号：028-616-8800(代)
設 立：平成13年4月1日

あゆみ

昭和22年(1947年) 農業協同組合法施行
昭和23年(1948年) 栃木県購買農業協同組合連合会(県購連)設立
昭和23年(1948年) 栃木県販売農業協同組合連合会(県販連)設立
昭和27年(1952年) 県購連と県販連が合併し、栃木県経済農業協同組合連合会(JA栃木経済連)設立
平成13年(2001年) JA栃木経済連とJA全農が統合し、全国農業協同組合連合会栃木県本部(JA全農とちぎ)誕生
平成28年(2016年) 栃木県本部事務所を現住所(宇都宮市平出工業団地)に移転

令和6年度 機構図

(令和6年4月現在)



※パールライス部は令和6年7月に全農パールライス(株)と統合予定。

子会社

- 株式会社JAグリーンとちぎ
- 株式会社ジェイエィ栃木ライフ

関連会社

- 株式会社JAエルサポート

連絡先一覧

管理部

〒321-0905 宇都宮市平出工業団地9-25
コンプライアンス推進課 ☎028-616-8803 FAX 028-616-8808
企画管理課 ☎028-616-8804 FAX 028-616-8808
総務課 ☎028-616-8800 FAX 028-616-8808
物流対策課 ☎028-616-8812 FAX 028-616-8808
施設住宅課 ☎028-616-8856 FAX 028-616-8860
〒321-0414 宇都宮市中里町362-2
総合物流センター ☎028-678-3092 FAX 028-678-3093

営農販売企画部

〒321-0905 宇都宮市平出工業団地9-25
総合支援課 ☎028-616-8807 FAX 028-616-8819
総合販売企画課 ☎028-616-8805 FAX 028-616-8819
担い手支援課 ☎028-616-8838 FAX 028-616-8819
〒321-4546 真岡市砂ヶ原1293
いちごゆめファーム

米麦部

〒321-0905 宇都宮市平出工業団地9-25
米穀課 ☎028-616-8820 FAX 028-616-8828
米麦総合課 ☎028-616-8821 FAX 028-616-8828
米産課 ☎028-616-8824 FAX 028-616-8829
検査協 ☎028-616-8822 FAX 028-616-8828
〒329-1579 矢板市こぶし台2-1
とちぎ米広域集出荷センター
〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-17-11 築業ビル4階
米穀課 東京事務所 ☎03-3518-9807 FAX 03-5280-6868

パールライス部

〒321-3325 芳賀郡芳賀町芳賀台198-2
パールライス販売課 ☎028-680-4334 FAX 028-677-4787
パールライス業務課 ☎028-677-4661 FAX 028-677-4787
パールライス製造課 ☎028-611-4600 FAX 028-677-4787

園芸部

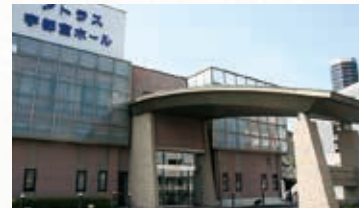
〒321-0905 宇都宮市平出工業団地9-25
園芸総合課 ☎028-616-8831 FAX 028-616-8837
流通課 ☎028-616-8832 FAX 028-616-8837
園芸 ☎028-616-8834 FAX 028-616-8835
〒321-4507 真岡市石島西裏925-2
施設運営課 ☎0285-85-8411 FAX 0285-85-8321
青果物広域集出荷センター
〒321-2118 宇都宮市新里町丁字神鳥1655-1
園芸種苗総合センター ☎028-665-7944 FAX 028-665-7947
〒143-0001 東京都大田区東海3-2-1 大田市場事務棟4階
東京青果事務所 ☎03-5492-5341 FAX 03-5492-5346

子会社



株式会社JAグリーンとちぎ

〒329-1105 宇都宮市中岡本町2713-1
☎028-671-8866
肥料・資材の生産・加工から農畜産物などの流通全般までを担う地域密着型の総合企業です。



株式会社ジェイエィ栃木ライフ

〒321-0905 宇都宮市平出工業団地26-4
☎028-660-3300
アトラスホールを中心としたJAの総合葬祭サービス会社です。

生産資材部

〒321-0905 宇都宮市平出工業団地9-25
肥料農薬課 ☎028-616-8840 FAX 028-616-8847
肥料農薬推進課 ☎028-616-8840 FAX 028-616-8847
農業機械課 ☎028-616-8842 FAX 028-616-8849
農機一体運営課 ☎028-616-8843 FAX 028-616-8849

〒321-4325 真岡市田町1356-1
はが野広域農機センター ☎0285-83-8025 FAX 0285-84-4911
〒328-0002 栃木市惣社町1485-12
しもつけ広域農機センター ☎0282-29-7033 FAX 0282-29-6377
〒321-0604 那須烏山市中山550-1
なす南広域農機センター ☎0287-82-0055 FAX 0287-82-0011
〒323-0053 小山市大字小袋170-2
おやま広域農機センター ☎0285-38-2029 FAX 0285-38-2032
〒329-1301 さくら市箱森新田589-1
しおのや広域農機センター ☎028-612-3420 FAX 028-612-3421
〒321-0901 宇都宮市平出町3565-1
うつのみや広域農機センター ☎028-663-2651 FAX 028-663-2720
〒321-0913 宇都宮市上桑島町1459-2
トレーニングセンター ☎028-656-1061 FAX 028-656-1062

畜産部

〒321-3303 芳賀郡芳賀町稲毛田1921-7
肉牛販売課 ☎028-689-9033 FAX 028-689-9020
食肉販売課 ☎028-689-9022 FAX 028-689-9020
ミートセンター ☎028-689-9022 FAX 028-689-9020
アウトバックセンター ☎028-689-9022 FAX 028-689-9020

〒321-0905 宇都宮市平出工業団地9-25
畜産生産課 ☎028-616-8851 FAX 028-616-8854
〒324-0492 大田原市湯津上5-1068
キャトルセンター
〒329-1573 矢板市越畑明神前328-1
矢板家畜市場 ☎0287-48-0350 FAX 0287-48-1509
〒108-0075 東京都港区港南2-3-26 モンテヌ品川3階301号室
東京畜産事務所 ☎03-3471-6006 FAX 03-3471-5880

生活事業

〒321-0905 宇都宮市平出工業団地26-4
栃木推進課 ☎028-616-8855 FAX 028-616-8859

関連会社



株式会社JAエルサポート

〒321-0111 宇都宮市川田町1033-2
☎028-633-4800
ガス事業・石油事業・建設事業を通じて、組合員・消費者の快適な生活を支援する総合サービス会社です。